

## あおぞらだより

第157号(発行/平成28年6月)

デイケアつぼみバザー & カフェ

### 孫

江戸川病院院長 新村ヨシオ



紫陽花/院庭

孫は自身の子の子である。孫は眼の中に入れても痛くないとか孫は本当に可愛いものだと思っていた。孫を持てるには条件が必要である。まず祖父として健康でないと孫の顔は見られないし、子どもも成長し、良き伴侶を得て、お互いに健康でないと出産を迎えることができない。一般的に世代交代は当然

と考えているが、誰でもどこのお宅でも順調に営まれているかという、そうとは限らない。子の世代で結婚しなかった人や離婚となった家族で子供が産まれなかった場合、あとは最初から子どもを求めない家族などがあるので、孫を授かれる人はとても恵まれている。子孫を残すものという平均的思考であれば、若者は家族を持つ目標をもって経済力をつけるため、勉学を続け、職業選択し精勤する人生像を描くと思われる。それでも諸般の事情で計画が挫折する人もいて、家族を持つことを断念することもある。社会構造の変化により価値観や人生観に変容が起こっているからであろう。

孫が産まれると人が変わるとも言われ、生活や人間付き合いも変わってくる。先輩や知人を見ている、空気を読めず自らの孫の話題にもっていきこうとしていた。普段では見せぬ笑みを浮かべ目を細めて孫の一挙手一投足を我が子の成長を見ているかのように話していた。その人達と休日にゴルフしたが、恒例となっていた入浴後の一服も断るようになり、あまりの変わりぶりに同伴者一

とも驚いたことがあった。それからは同じようなことがあちこちで起こるようになり、そんなに孫ってかわいいものかと思っていた。しばらくは同年代との付き合いで孫の誕生はなかったが、7~8年前頃から時々耳に入ってきた。同年代のなかには、孫が産まれても生活や付き合いに変化が起こることは少なくなっていた。核家族化とか現代子は親の関与を好まないこともあってか、祖父母の関与を避けるようになっている。子ども世代の晩婚化や祖父母も現役労働者が多く、孫への愛着もすぐには芽生えないとも考えられる。社会構造の変化によって人間も変わってきて、日本の風習にも異変が起こっている。

孫の誕生は我が家に沢山の話題を提供してくれた。約2年半前に長男に女兒が、昨年12月には男児、そして今年の5月には次男に待望の女兒が生まれ、あっという間に3人の孫に恵まれた。しかし、最初の孫の時は多忙のこともあったが、自身にとっては不思議な体験をした。初めての孫なのに嬉しさがこみあげてこなかった。見せられても物体のように感じられ、自身の冷めた気持ちに自身の心に何が起こっているのか理解できなかった。動画が送られてきたり、お宮参り、お食い初めなどで接する機会が多くなり、孫の顔がどちらに似ているかとか、それぞれの成長ぶりが話題になって我々の会話の量も特段に増えてきた。お嫁さんは里帰り出産もしているのでさぞや実家の両親はお世話で大変と思うが、毎日の成長ぶりを観ているので、自身以上の可愛さを感じられていると思っている。成長するにつれ言葉を話し、感情の表出も多くなって簡単な意志は疎通するようになり、「じいじ」と近寄ってくると愛着が湧いてくる。今となっては可愛さを感じ、会うのが楽しみになってきた。

孫はいずれ成長していくが、祖父から見ると不安になってくる。少子化をはじめ、産業の空洞化、国の負債を考えると、孫が成人になる頃の日本は存在しているのか保証はない。政治家にしても百年の計を考えるとと言っても債務国となっている。口では孫子の代まで借金を残すわけにはいかないとっておきながら、1000兆を超過している。まさしく、今は出生率をあげ育児の負担軽減し、教育費の無料化で人材を確保して、安定した就労人口を維持することを優先すべきである。勤労者の給与も不安定なので、衣食住費で精一杯であるという。大学卒業後就労し、奨学金を返済できず、自己破産している人が年間1万人いるとの報道もあり暗い話題が多く、孫のことを考えると手放しで喜べない社会になっている。このような世相なので将来に夢を持たず、孫の誕生も気が重くなってしまうのか。近い将来、院庭で自身が孫と手をつなぎ遊ぶ姿を垣間見ることができらるであらう。

# デイケアつぼみバザー&カフェ



## バザー

皆様より沢山のバザー品のご寄付をいただき無事に恒例の春のバザーを開催することができました。また、手作り品としては、わんちゃん、カモノハシ、アヒル、などのカードを商品化して出品しました。型作り、カッターで切る、折り、文字書きなど、皆で分担して作業をした中でも特に綺麗な形に切るのが大変でした。その他にもメンバーの得意分野を生かした手作り品、アクセサリ、写真、絵、ポストカードも並びました。病棟の皆さん、職員さん、外来の患者さまなど沢山の方にご来場いただき今回も盛況に終わりました、ありがとうございました。



## カフェつぼみ

前回まではバザー会場と併設して、喫茶コーナーを設けておりましたが今回ボランティアの皆様のお力も借りし、初めてD棟一階での「カフェつぼみ」を Open しました。壁の装飾から小物使い、クロス、BGM、フラワーアレンジメントなど、一つ一つに拘りカフェらしい雰囲気作りを目指しました。光の差す開放的な空間の中、笑顔で明るい接客でおもてなしをしました「またオープンしてほしい」「接客が爽やかで良かった」「素敵な笑顔をありがとう」などの嬉しい声を聞くことができました。次回に繋げていけたらと思います。